

#### ④『評価方法・評価額・ご契約金額（保険金額）』について

##### a. 評価方法・評価額について

- 評価額の算出方法には、新価（再調達価額）基準で算出する方法と時価基準で算出する方法の2種類があり、保険金のお支払方法もそれぞれの基準によります。
- 「新価（再調達価額）」とは、保険の対象と同等のものを新たに建築または購入するのに必要な金額をいい、「時価」とは、新価（再調達価額）から使用による消耗分を控除して算出した金額をいいます。
- 評価額が実態に合っているか、「新価（再調達価額）」「時価」のどちらで設定されているかをご確認ください。（すまいの総合保険、および新価保険特約または価額協定保険特約がセットされた保険契約は「新価（再調達価額）」、それ以外の保険契約は「時価」となります。）

##### 建築費倍率法 < 建築年と建築時における建築価格がわかる場合 >

$$\text{建築時における建築価格} \times \text{建築費倍率}^*1 \times \left( 100\% - \text{基礎を除く場合}^*2 \right) = \text{新価(再調達価額)}$$

千円                      千円                      %                      千円

⇒ 建築時における建築価格に物価変動を加味して評価します。

##### 新築費単価法 < 建築年または建築時における建築価格がわからない場合 >

$$\text{新築費単価}^*1 \times \left( 100\% - \text{基礎を除く場合}^*2 \right) \times \text{単価調整}^*3 \times \text{延床面積} + \text{門・塀などの価格} = \text{新価(再調達価額)}$$

千円                      %                      千円                      m<sup>2</sup>                      千円                      千円

⇒ 1 m<sup>2</sup>あたりの標準的な単価と建物の延床面積から評価します。

$$\text{建物の新価} \times \left( 100\% - \text{経年減価率}^*1 \times \text{経過年数} \right) = \text{時価}$$

千円                      %                      千円                      千円

- \*1 建築費倍率、新築費単価および経年減価率には標準的な基準があります。（3枚目の建物の評価に関する資料をご参照ください。）
- \*2 保険の対象に建物の基礎を含めない場合は、目安として5～8%の減額を行います。
- \*3 新築費単価法による評価では、必要に応じて新築費単価の調整（目安として30%以内の増減）を行います。

世帯主の年齢およびご家族の人数による標準的な家財の金額は次の通りです。

##### 新価(再調達価額)

		家族人数				
		1名	2名	3名	4名	5名
世帯主年齢	25歳前後	300万円	500万円	600万円	700万円	800万円
	30歳前後		700万円	800万円	900万円	1,000万円
	35歳前後		1,000万円	1,100万円	1,200万円	1,300万円
	40歳前後		1,200万円	1,300万円	1,400万円	1,500万円
	45歳前後		1,400万円	1,500万円	1,600万円	1,700万円
	50歳以上		1,500万円	1,600万円	1,700万円	1,800万円

※必要に応じて調整（目安として30%以内の増減）を行います。

※1個または1組の価額が30万円を超える貴金属、宝石、美術品などを保険の対象とする場合の評価については、すべて時価基準で算出します。

##### 時価

		家族人数				
		1名	2名	3名	4名	5名
世帯主年齢	25歳前後	270万円	480万円	570万円	660万円	750万円
	30歳前後		590万円	680万円	770万円	860万円
	35歳前後		780万円	870万円	960万円	1,050万円
	40歳前後		940万円	1,030万円	1,120万円	1,210万円
	45歳前後		1,080万円	1,170万円	1,260万円	1,350万円
	50歳以上		1,140万円	1,230万円	1,320万円	1,410万円

家財

※上記方法により算出した額は参考水準です。これらの額も参考に、取扱代理店とご相談のうえ、お申し込みいただく保険契約の評価額が実態に合っているかご確認ください。

##### b. ご契約金額の設定について

ご契約金額が評価額より多すぎる場合（超過保険）、評価額を超えた部分の保険料は無駄となります。評価額を踏まえた金額でご契約金額が設定されているかご確認ください。

※ご契約金額が土地代などを含んだ金額となっていないかご確認ください。

#### ⑤『補償の内容』について

お申し込みいただくご契約プランやセットされる特約によって、補償内容（保険金をお支払いする場合・保険金をお支払いできない場合）は異なります。お客様のご希望に沿っていることをご確認ください。